

ディスカッションの成功を目指した学習活動の研究

（実践者）河野 操

1 研究テーマ設定の理由

国際化社会において、外国語は言語や文化が異なる多様な人間同士をつなぐものである。そのため外国語教育では、スキルの習得だけでなく、習得したスキルを活かし、個性や考え方が異なる他者とも意見交換などを通して積極的にコミュニケーションを図り、よりよい関係を築こうとする態度が求められる。互いの考えを理解し合い、折り合いをつけながらよりよい関係を築こうとする態度は、「持続可能な社会」の形成に必要な資質・能力であると思われる。本研究では、ディスカッションを成功させるための学習活動を工夫したい。ディスカッションを成功させるためには、理由や根拠を明確にしてテーマに沿った自分の意見を述べたり、相手の意見に賛成なのか、反対なのか、を理由や根拠を交えて説明したりする必要がある。また、スムーズにディスカッションをするためには、あらかじめ用意しておいた英語以外に、相手の意見を聞いた後ですぐに返答することができる即興性も必要とされる。既習文法を使って、内容にまとまりがあり、相手を納得させる英語をいかに作っていけばよいか、効果的な学習活動を検討したい。そのためには、相手が話している英語を細部まで理解できる「聞く力」、筋道の通ったまとまった英文を考え「書く力」、相手に納得してもらうために効果的な「話す力」を総合的に生徒に身に付けさせなければならない。友だちから多様な意見を聞き、互いに学び合いながら課題を解決することによって、英語でのディスカッションを成功させる学習活動に取り組みたい。

2 研究の内容及び方法

(1) 問題解決的な学習の充実

教科書の活動一つ一つは、各レッスンや単元における英語学習においてテキストなどにつながって重要な役割を果たしている。しかし、そこからさらに発展した内容や言語活動を駆使して、教室外での言語活動が可能となるような課題解決を目的とした活動が必要である。以上のことから、教科書の活動をもとにして、どのような内容を組み込むことにより、また、どのように場面設定を工夫するかによって、課題解決型の言語活動とすることができるかを研究する。

(2) 協働の学び合いの場の充実

英語でディスカッションをする場合、英語の苦手な生徒にとっては、越えなければならないいくつかの壁がある。テーマに沿った課題を解決するために、グループの一人一人に speaker, listener, writer などの役割を与え、まとまった内容の英文を完成させることにより、学び合いの中で英語が苦手な生徒もディスカッションに取り組む意欲をもたせたい。

(3) 自己または相互評価をもとにした振り返りの充実

活動中に相互評価をさせたり、活動後に自己評価をさせたりすることにより、次の活動の改善に役立たせたり、よりよい内容の英文になるよう工夫させたりする機会をもたせる。今まで、できていなかったことが「できるようになった」、活動を重ねて「前よりよくなった」ということを実感させることは、生徒たちが自己の成長を確認でき、次の活動への意欲付けにもつながる。

3 研究の実際

(1) 生徒の実態

本実践の生徒第3学年（男子20名、女子20名、計40名）は、33人が英語学習に興味をもち、積極的に授業に臨んでいる。授業中の発言も多く、友だちと協力して練習するペア活動やグループ活動にも意欲的に取り組んでいる。英語に対する興味・関心が高い生徒もそうでない生徒も、外国の人々とすらすら話せるようになりたいという希望をもっている生徒が多い。一方で、英語に興味・関心はあっても、正しい英文を書いたり、まとまった英文を読んだり聞いたりすることが苦手な生徒もいる。これまでの学習で、様々なテーマのもとプレゼンテーション活動に取り組んできた。自ら資料を収集し、説明文を完成させ、英語でスピーチする活動に親しんできている。しかし、発表については、用意した原稿を覚えて発表するだけの活動にとどまっていた生徒も多かった。

以上のことから、単なるスピーチに終わることなく、4技能を総合的に取り入れた言語活動を設定することにより、英語が得意な生徒も苦手な生徒にも、興味・関心を維持させつつ、英語で意見交換することができる力を高める指導の必要性を感じている。

(2) 論理的に思考し表現する力を高めるための工夫

相手が発言したことに対して、自分の意見を言うとき、あまり時間をかけずに即興で英文を作り、答える必要がある。そのために、日々の授業の中で、1分間チャットをしてテーマに沿った内容についてペアで対話活動を行った。まずは2分間 thinking time を与え、テーマに関連する英文を考えさせる。thinking time の間は、習っていない単語については、辞書を活用させた。その日のチャットが終了したらワークシートを回収し、教師が添削を行いフィードバックした。

（資料1）また、既習単語を使って語彙力を高める活動として、キーワードから連想できる単語を集め、その後に集めた単語を使って英文を作成する練習も行った。（資料2）

資料1 1分間チャットのワークシート

No	Date	Topic	Note	Evaluation
1	1/27	What do you think of Japanese food? Sushi is nice. I don't like fish. But, I can eat sushi. It's very delicious. I like ramen.		① A B C ② A B C ③ A B C ④ A B C ⑤ A B C ⑥ A B C
2	1/27	What's your favorite TV program? スポーツ番組のことは大好き。 stress relief It's very interesting.		① A B C ② A B C ③ A B C ④ A B C ⑤ A B C ⑥ A B C
3	1/27	What do you eat for breakfast? I don't like many foods. Fish, NASUJI. Nasuaji is very delicious. But, some fish stink.		① A B C ② A B C ③ A B C ④ A B C ⑤ A B C ⑥ A B C
4	2/3	How do you spend your free time? I like to play the bass very much. I play the bass. I want to play the bass well. My dream is to be a bass player.		① A B C ② A B C ③ A B C ④ A B C ⑤ A B C ⑥ A B C
5	2/5	What did you eat for breakfast? I ate rice and miso soup and miso soup. I am hungry all times.		① A B C ② A B C ③ A B C ④ A B C ⑤ A B C ⑥ A B C
6	2/8	How about skiing? I'm not good at sport. Ski is very nice. I have many friends. Look at this. But I enjoyed ski.		① A B C ② A B C ③ A B C ④ A B C ⑤ A B C ⑥ A B C

A:よくできた B:できた C:あまりできなかった

資料2 単語の連想から英文作成の過程

Shogatsu is the first day of the year.
Rakugo is a Japanese traditional performance.
Osechi is a Japanese traditional food which we eat on New Year's Day.

I like temples and shrines.
I've eaten sushi.
There are many wooden buildings.
Nara and Kyoto have many traditional buildings.

(3) 授業の実際

ア指導の実際

(7) 単元名 TOTAL ENGLISH 3 Chapter 4 Project 自分の意見を言おう

(1) 単元目標

- 整った英文を使ったまとまりのある英文で自分の意見を書くことができる。
- 他者の意見を聞き、理由や根拠を含んで自分の意見を述べるができる。

[本質的な問い]

どうすれば、既習文法を使って相手を納得させる意見を英語で述べるができるか。

[永続的な理解]

あるテーマについて相手に自分の意見を述べる時、まずは自分の考えをまとめる必要がある。意見をまとめる際は、トピックセンテンスで自分の立場を明らかにし、サポーティングセンテンスで理由や根拠を述べ、コンクルーディングセンテンスでまとめを述べるという内容にすれば、相手を納得させる内容にすることができる。

(ウ) 評価目標と評価方法

評価目標	評価方法
① 積極的に自分の意見を述べようとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)	◎パフォーマンス課題 次の4つのテーマについて自分たちの意見を述べたり、他のグループの人たちの意見を聞いて、反対意見を述べたりするなど、意見交換をなさい。(②③④) <意見交換テーマ> (a) Which do you like better, reading or playing? (b) What do you think of Mr. Trump? (c) What Japanese food do you recommend to foreign people? (d) What do you think of the tradition in Fuzoku JHS? ○観察 (①④) ○ワークシート (②)
② まとまりのある英文を書くことができる。 (外国語表現の能力)	
③ 相手の意見を聞いて内容を理解することができる。 (外国語理解の能力)	
④ ディスカッションをするときの決まった表現を理解している。 (言語や文化についての知識・理解)	

資料3 パフォーマンステストで用いたルーブリック

評価	A	B	C
Speaker	相手に視線を合わせて、理由や根拠を含めた内容の英文を話すことができる。	意見のみの発表で、理由や根拠が含まれてない。	下を向いたり、原稿を見たりしながら棒読みである。自分たちの意見をほとんど言えてない。
Writer	主語＋動詞～が整った英文を使って、具体例、根拠、理由などを明確に書くことができる。	主語＋動詞～が整った英文を使っているが、内容にまとまりがない。	整った英文になっていない。(単語のみの羅列など)

○学習内容	◇評価規準（観点）	時間
○英単語から連想する単語を、マッピングを使って、集めよう。 ○集めた単語を使って英文を書こう。	◇関連するたくさんの単語を知っている。（知識・理解） ◇主語＋動詞の整った英文を書くことができる。（表現）	1
○ディスカッションで使える表現を学習しよう。	◇場面に応じた表現を適切に使うことができる。（表現）	1
○4つのテーマに沿って、グループでディスカッションをしよう。	◇自分たちの意見を積極的に述べようとしている。（関心・意欲・態度） ◇根拠や理由を入れて、主語＋動詞の整った英文を述べることができる。（表現）	2

(I) 指導計画（全4時間）

(オ) 授業の実際

① **主 題** テーマについて意見交換をしよう。

② **ねらい**

○整った英文を使ったまとまりのある英文で自分の意見を書くことができる。

○他者の意見を聞き、理由や根拠を含んで自分の意見を述べるができる。自分たちの意見を積極的に述べるができる。

③ **展 開**

学習活動（形態）	時間	○教師の働きかけ・生徒の主な反応	○ 指導の工夫◇ 評価（方法）
1 Warm-up をする。（ペア）	3	○1分間チャットを行おう。  ・ My dream is to be a doctor like my mother, because I want to help many sick people.	○最初の2分間は thinking time として対話の内容を考えさせるための時間を与えた。また、内容を1分間続くように、つなぎの言葉を使わせたり、質問をさせたりした。
テーマについて意見交換をしよう。			
2 ディスカッションの準備をする。（グループ）	5	○テーマについてグループの意見をまとめよう。 	○英語が苦手な生徒も意見交換に取り組めるように、 writer が中心となり、班の意見を英語で書き、 speaker が中心となって発表できるように役割分担をさせた。【協働】

3 ディスカッションをする。 (一斉)	32	○グループでまとめた意見をもとに、ディスカッションをしよう。 	◇整った英文を使ったまとまりのある英文で自分の意見を書くことができて いるか。(ワークシート) ◇他者の意見を聞き、理由や根拠を含んで自分の意見を述べているか。(観察・ワークシート)
4 活動の振り返りを行う。 (個人)	10	○活動を振り返って、振り返りシートに記入しよう。	○自己評価を含んだ振り返りシートを用意し、本時の振り返りをさせた。

イ 生徒の学びの実際

テーマ決定後5分間でテーマの意見をまとめる時間をとった。その後、各グループのspeakerがグループの意見を発表した。生徒が実際に行ったディスカッションの内容を分析する。

<p>テーマ：Which do you like better, reading or playing?</p>	
(グループA) speaker:	We like playing better. Because playing sports is exciting and healthy.
(グループB) speaker:	I agree with you. But we like reading better than playing. There are two reasons for this. First, we can enjoy reading if it rains. When we can't play outside, reading is good for us. Second, we can enjoy reading anywhere.
<p><相手の意見を聞いて反論と質問を考える時間2分程度></p>	
(グループA) speaker:	I think so, too. I have a question. If it rains, do you read in your room? That is not healthy, I think.

以上のように、自分たちの意見を、理由と根拠を含めて発表できている。それぞれの技能で能力差がある。そのため、グループ内で協力し、相手の意見の聞き取る生徒 (listener)、自分たちの意見を作文する生徒 (writer)、発表する生徒 (speaker)、他の班の評価をする生徒 (judge) というように、役割を分担することにより、意見交換を成立させることができた。

本実践後、生徒に対してグループのディスカッションについて評価と振り返り (3年生37名) を行った。その結果と自由記述を以下に示す。

評価対象	評価	項目	人数
speaker	A	相手に目線を合わせて、理由や根拠を含めた内容の英文を話すことができた。	16
	B	意見のみの発表で、理由や根拠が含まれてない。	17
	C	下を向いたり、原稿を見たりしながら棒読みである。自分たちの意見をほとんど言えてない。	4
writer	A	主語+動詞~が整った英文を使って、具体例、根拠、理由などを明確に書くことができた。	16
	B	主語+動詞~が整った英文を使っているが、内容にまとまりがない。	17
	C	整った英文になっていない。(単語のみの羅列など)	4

(生徒の感想)

- 今まで習ってきた文法を駆使して英文を考えることが楽しかった。また、他の班の意見を聞くことが新たな視点を身に付けることができた。
- speaker** が特に難しかった。相手が先に述べたことに対して自分たちはどう考えているのか伝えることに苦労した。
- 臨機応変に対応する英語力が必要だと思った。
- 意見を考えようとしたときに、分からない単語がたくさんあって、単語力が必要だと思った。

ウ 考察

英語でディスカッションさせるためには、4技能すべての能力を総合的に高める必要がある。振り返りにおける生徒の感想の中には、相手の意見の内容を理解していないと、関連した内容の応答や反対意見が言えない、語彙力がないと臨機応変に意見を述べるできない、というような意見があった。このことから、ディスカッションを成功させるためには、日々の授業で語彙力の向上を目指す活動や、まとまった内容の英語を聞かせる活動、即興で自分の意見を述べさせる活動を積み重ねないといけないと感じた。また、英語力の差に関しては、**speaker**, **listener**, **writer**, **judge** と役割分担させることにより、グループ内で協力してディスカッションに向かわせる準備が整い、意見交換を成功させることができたと考える。

4 成果と課題

- グループ内で役割分担させたため、英語が苦手な生徒も意見発表に参加したり、自分の意見を考えたりすることができた。
- 英語で話す機会をもちたいと考える生徒が多いため、英語での意見交換は楽しんで取り組める活動になった。
- 単なるスピーチや単語を並べただけの対話ではなく、相手の意見を聞いてその内容に関連させた内容を述べたり、根拠や理由を含めた英文を述べたりする必要性を高めることができた。
- 語彙力の未熟さから、即興や臨機応変に対応する難しさがある。
- 生徒同士が1対1で意見を交換し合う英語力を高める必要がある。

参考文献

今井 典子・高島 英幸(2015)「小・中・高等学校における学習段階に応じた英語の課題解決型言語活動—自律する学習者の育成」東京書籍